

北欧 ロシア 10カ国が共同提案 2005年 世界遺産 登録

UNESCOホームページ
<http://whc.unesco.org/en/list/1187/>

シュトルーヴェの測地弧

ノルウェーから黒海までの2820kmの三角測量
主要な測量点群 5カ国を取材して 初のテレビ放映

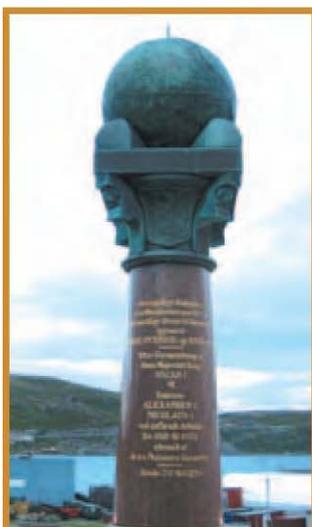
シュトルーヴェの測地弧は、ノルウェーのハンメルフェストから黒海までの延長2820km、10カ国にわたって広がる三角測量の測量点群である。これらの点は、天文学者フリードリッヒ・シュトルーヴェによって1816年から1855年の間に実施された測量で使用されたものである。この測量は、地球の正確な大きさと形の計測に寄与し、地球科学や地形図の発展において重要な役割を果たした。これは、様々な国の科学者たちによる学術的協力の顕著な例である。測量された測地弧は258の三角形が鎖状に連なるもので265の測点から成るが、登録地点にはそのうち34点が選定された。その形状は岩にドリルで穴を開けられたものからオベリスク状のものまで様々である。



フリードリッヒ・シュトルーヴェ



現存する子午環



ノルウェーのハンメルフェストにある最北の測点



エストニアのタルトゥーにある現存するドルバット天文台。シュトルーヴェは、ここの天文台長をしていた。